

文化・芸術

〈名画の扉〉

大川美術館展示風景から

ポップアート（pop art）とは、大衆にふれるイメージの大量生産、大量消費がくまなく見られる1960年代のアメリカそのものを象徴するアートでした。

50年代の抽象表現主義を超えるように、つぎの世代のアーティストとして、60年代はじめにはジャスパー・ジョーンズ、ロバート・

ラウシェンバーグ、トム・ウェッセルマン、そしてスター的な存在となるアンディ・ウォーホルが登場しました。

彼らは、商品、商標（ラベル）、ポスター、コミック、ピンナップ

ポップアートの作品から



（田中）